

地域食堂で「自慢の味」を 中頓別の黄金湯

【本頓別】コミュニティレストラン（地域食堂、コミレス）を7月開設予定の公衆浴場「黄金湯」（渡辺由起子さん経営）で22日、非常勤で料理の腕を振るる「ワンディシェフ」の参加希望者らが運営方法を話し合う初会合が開かれた。コミレスの4月12日の仮オープンを目指し、シェフ仲間の輪を広げていくことなどを決めた。（太田一郎）

シェフ希望者会合

コミレスは住民が運営に 程度のランチを提供するほ 参加する集いと憩いの場 出、7月に本格オープンも で、同シェフは参加希望者 出し、7月に本格オープン が交代で料理を出す。参加 してランチを週5回程度に を検討中の人は現在10人ほ 増やしたい意向を説明し どで、22日はこのうち主婦 た。

や会社員など5人と渡辺さ 同シェフのルールづくり ん、コミレススタッフの普 について意見を述べ合い、 原第史郎さんが、手作りの 「食材の鮮度や施設の衛生 カレーや持ち寄った料理を を良好に保つための決まり 食べながら話し合った。

渡辺さんは、コミレスの シニクなど地元食材を生か 改修工事が3月中旬に完了す した特産品開発も並行して る見通しを報告。仮オープン 行うべきだ」といった意見 ン期間の4～6月は週3回 が上がっていた。



渡辺さん（中央）を囲み、ワンディシェフの運営方法な とを話し合う参加希望者ら